



クラブ会長
幹事殿控

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1997年4月20日 No.11

I.M.特集



名古屋第一分区 I.M.のフィナーレ “手に手つないで”



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840



「新世代会議」で思うこと

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏

本年度RI会長ルイス・ビセンテ・ジアイ氏は「BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION」「築け未来を－行動力と先見の眼で」を本年度RIテーマとして掲げ、6項目のプログラムを発表されました。その中でも特に「次の世代を準備することによって未来を築こう」と新世代の健全育成の重要性を強調されました。そして「新世代会議」の開催を提案されたのであります。地区内各クラブにおかれましては、積極的にこの会議を計画実施され大きな成果を挙げられましたことに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

ジアイ会長は年当初のメッセージの中で「私たちが新世代について語るときは、世界人口のほぼ1/3のことを考えています。そしてその人たちにとって明日では遅すぎることもあるので、今が行動の時なのです。積極的な行動をして、先見の眼をもって未来を築いて下さい。そうすれば時を経て、私たちは敬愛するロータリーを21世紀に前進させることができるでしょう。」と述べられました。

去る3月15、16日第5回地区ライラセミナーが美浜少年自然の家にて、刈谷ロータリークラブをホストとして開催されました。その中で地区青少年活動委員長会議が行なわれ、各分区より代表者による「新世代会議」の実施結果報告がなされました。「新世代会議」の目的は、地域の新世代を対象とする対話集会で、会議には地域のリーダーを招聘して、新世代の人たちの考えや意見を聴き、地域の指導者と新世代の人たちとの対話を推進することによって、彼らの関心事を理解し、21世紀に向けてのビジョンを明

確にして、その責任を共有することにあります。

青少年を取りまく環境は、経済成長と産業構造の変化、核家族化と共働きの増加、豊富な物、豊富な情報など環境の変化が、彼らに大きな影響を与えています。

学校の週5日制の導入は、これからの時代に生きる青少年たちに望ましい人間形成を図ることを基本的なねらいとし、学校、家庭及び地域社会が一体となって、それぞれの教育機能を発揮することが求められています。生活体験が希薄化している青少年が体験を通じて、勤労の尊さや社会に奉仕する精神を培うことが重要になってきています。

豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成に向けて、我々ロータリアンが支援協力することは大変意義深いことであります。

「新世代会議」に参加された人たちが異口同音に、これからもこのような機会を是非継続してほしいと要望しています。

新世代プログラムを推進するにあたり、われわれロータリアンが新世代の良き先輩として、彼らの主張をよく聴いてやり、ともに学び、ともに活動するというスタンスが望ましいのであります。

今後共一層のご協力と深いご理解を賜りますことをお願い申し上げます。



アナハイム国際協議会に 参加して

ガバナーノミニー

犬飼 栄輝

明るい日ざしとさわやかな緑の風。南カリフォルニアは25℃でした。3月6日9時半、私たちが乗った日航機は、滑走路が4本もあるロスアンゼルス空港に着きました。

翌3月7日から3月14日までアナハイム・ヒルトンホテルで、'97国際ロータリー協議会が開催されました。朝は7時から朝食、8時半から会議、日中は研修とディスカッション、そして夜もいろいろな目的のパーティーが開かれ、スケジュールいっぱいの特訓でした。

出席者は世界521地区（日本は34地区）のガバナーノミニー夫妻と各国のロータリー関係者で、文字通り人種のルツボ。この交流も国際協議会の大きな目的だったと思います。

キンロス次期会長のテーマは「SHOW ROTARY CARES」(ロータリーの心を)でした。ロータリーの心を行動で証明しよう、という意味だ

と思います。飢餓と貧困からの解放が強調され、そのためのロータリアンの国際奉仕活動の活性化を要請されました。特に印象的だったのは、青少年対策と基礎教育（日本流に言えば読み書き算盤）の必要性を主張されたことです。

研修の内容も多岐にわたり、大変勉強になりました。これまでのロータリーについての浅い知識や情報を反省すると共に、ガバナーの果たすべき役割や任務が次第に理解でき、責任感と決意のようなものが、自分なりに湧いてきたのではないかと思います。

97～98年度は、松本 宏・現ガバナーのご方針を引き継ぐと共に、第2760地区ロータリアン各位のお力ぞえで、ガバナーとしての責任を果たすため、微力を尽くす所存です。

新年度が、各クラブおよび第2760地区の明るい発展の年となることを祈ります。



1996～'97年度

INTERCITY MEETING(名古屋第一分区)

名古屋第一分区代理 各 務 芳 樹

日時／平成9年2月20日(休)

場所／ホテルナゴヤキャッスル



名古屋第一分区のI.M.開催にあたりましては、ホストを引き受けていただきました名古屋東南R.C.の吉水会長、浅野I.M.実行委員長をはじめ、全員が誠心誠意、I.M.開催のために一生懸命に頑張ってくださいました。心より感謝を申し上げます。また、松本ガバナーをはじめ、名古屋第一分区12クラブより500名に及ぶ多数のロータリアンのご臨席を賜りましたことは主宰者として無上の光栄であり、心から厚く御礼を申し上げます。

今年のI.M.はロータリーの創設者ポール・ハリス没後50年目に当たります。この意義深い年に松本ガバナーのご指導のもと、「今一度ロータリーの原点に立ち返ろう」と新入会員を主役にロータリーの勉強をするI.M.といたしました。

加納パストガバナーには「国際ロータリーについて」、盛田パストガバナーには「エンジョイ・ロータリー」と題してご講演いただきました。

加納パストガバナーは、さまざまなR.I.活動と現況を紹介され、若いロータリアンに「これからは国際ロータリーで、もっと堂々と発表してもらいたい」と大いに期待されました。

盛田パストガバナーは、R.C.は親睦を深め友達を増やすことが大切であること、そしてR.C.は1年で新しく生まれ変わる制度の利点をもっと生かし現役第一主義で運営すること、最後に

R.C.とゴルフ場の共通点を挙げられ、ロータリアンとしてのマナーを大切に決して今のゴルファーみたいにならないようにとのご提言をされました。

さらに名古屋瑞穂R.C.の松井君より熱田神宮にホテルを飛ばす「ホテル飼育5カ年計画」のユニークなご講演をいただきました。

名古屋南R.C.の吉田君、名古屋名南R.C.の菊岡君、名古屋名駅R.C.の丹羽君の3名の方々には「R.C.に入会して」というテーマで発表していただきました。吉田君はI serveとWe serveを例に取り上げロータリーの自由裁量の考え方が居心地をよくしていると発表されました。菊岡君はR.C.に女性が入れなかった理由を盛田パストガバナーのご講演で聞かれ、男性の可愛い単純な理由からと納得されました。これからは女性会員として、その特性を生かしロータリーのお役に立ちたいとお話しされました。丹羽君は税理士の立場からロータリーの奉仕の気持ちが様々な税務活動で役立っていることや例会の出席に積極的に取り組むことの楽しさを話されました。

以上6名の方々より大変貴重なご講演を拝聴いたしました。さらに懇親会ではロータリアンとしてお互いの友情の輪を広げることができ、これからのロータリー活動のお役に立てたのではないかと確信いたしております。



1996～'97年度

INTERCITY MEETING(西三河第一分区)

西三河第一分区代理 森 順 次

と き 1997年2月22日(土)

ところ 名鉄トヨタホテル

ホスト 豊田東ロータリークラブ

(プログラム)

登録受付 13:00～13:30

式典 13:30～14:00

フォーラム 1 14:00～14:40

中学生日記「おじいちゃんの別荘」

フォーラム 2

「子供から見た大人たち」

閉会式 16:30～16:50

17:00～17:45

2月22日、名鉄トヨタホテルにおいて西三河第一分区I.M.が開催され、R.I.2760地区松本宏ガバナーはじめご来賓の皆様には極めてご多用のなかご臨席を賜り誠に有難うございました。

また分区内の岡崎、豊田8クラブの会員260余名ご出席を得て、I.M.が盛大に且つ意義深く開催することが出来たことを厚くお礼申し上げます。

今年度のR.I.ジアイ会長は「築け未来を行動力と先見の眼で」をテーマに特に強調されましたことは、次の世代を準備するため、後継者の新世代を対象とした活動であります。すなわち「新世代のためのロータリープログラム」と「新世代のためのロータリー会議」であります。

これをうけて松本ガバナーはロータリアンとして積極的に青少年の声を聞くよう提案をされ



ています。

今回のI.M.の開催にあたり、ジアイ会長、松本ガバナーの方針に沿い、青少年問題を取上げました。

講師として、NHK名古屋放送局のチーフディレクター 大久保晋作先生に「子供から見た大人たち」と題して講演と映像をお願いをしました。

大久保先生には35年の長い人気番組「中学生日記」のディレクターとしての経験から、子供と同じ目の高さで話すことが大切であるとお話があり大変参考になりました。

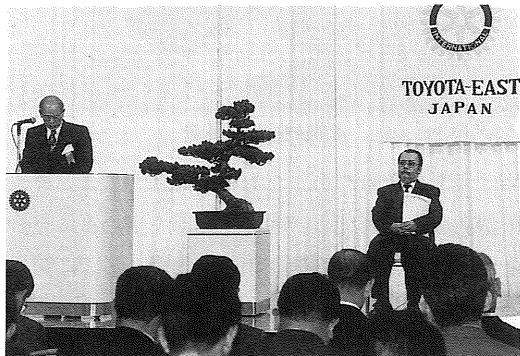
私たち年頃の子供をもつ親として、また少子高齢化社会の年長者として、子供たちと素晴らしい関わりができれば幸いです。

分区代理としてI.M.を計画するにあたり特に留意したことは、限られた予算のなかでいかに成果を挙げるか努力をいたしました。

そのために実行委員の皆さんが1年有余に亘り十数回の役員会、それぞれに委員会を開いて準備をしてきました。

又ホストクラブとして大変嬉しかったのは開会式、フォーラム、閉会式、そして懇談会の最後までご参加をいただき大変感激をいたしました。ほんとうに有難うございました。

終りに今回のI.M.のご指導をいただいた松本ガバナー、ホストの豊田東クラブの三宅実行委員長、村上会長をはじめ会員のご協力に心から感謝を申し上げお礼のことばといたします。



1996～'97年度

INTERCITY MEETING(東三河分区)

東三河分区代理 石川 孝 司

東三河分区のI.M.は午前10時30分の分科会から始まり本会議は13時30分より松本宏ガバナー、宮地信尚、石川和昌の両バストガバナー、内田栄一地区幹事等、特別出席者の方々と分区内13ロータリークラブの629名(分区内会員1,011名)に及ぶ多くのロータリアンのご出席を頂き分区の最大の行事であるI.M.を盛大に開催出来ました。

本年のルイス・ビセンテ・ジアイ会長のテーマであります「築け未来を行動力と先見の眼で」に沿ってI.M.のテーマも「新世代を考える」としま



▲石川分区代理ごあいさつ

した。まず午前中に「医療」「環境」「青少年教育」「ローターアクト・インターアクト」「青少年交流」の第1分科会から第5分科会まで5つの分科会に別れて経験豊かなリーダーのもとに更に部外からも専門のゲストをお迎えしてアドバイスを受け熱心に討論を行いました。入会3年未満の会員と多数の傍聴を希望する会員を交え中日新聞等のマスコミも取材に来場され大変内容の濃いディスカッションが行われ90分の時間が足りない位の活気に充ちた分科会が行われました。

午後の本会議は点鐘で開会し国家「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」に続いて恒例の挨拶、紹介等はなるべく虚礼を排して実質的に時間も出来るだけ短縮し、分科会の発表に重きを置きました。「医療」の長屋孝美リーダー(豊橋RC)からは出生、生存、死の問題。「環境」では鈴木薫

リーダー(豊橋東RC)は東三河の環境保全等。「青少年教育」は山本明彦リーダー(豊橋南RC)は海洋少年団、PTA、不登校、服装等。「インターアクト・ローターアクト」では森田雅人リーダー(田原RC)がIAC、RACのボランティアの現状RCとの関連。「青少年交流」は山本善嗣リーダー(豊橋RC)からは地区青少年交換、姉妹クラブ間の交換、米山、R財団奨学生につき。夫々より延べ90分にわたり要点をまとめて発表があり、松本宏ガバナーからは「グレードが高く、地区協並み」とのご講評を頂いて無事閉会する事が出来ました。

このI.M.を開催するに当っては豊橋RCがホストになり松井英治郎会長を始めとした多大なご協力と、森澄I.M.実行委員長を中心にして1年も前より綿密に計画され着々と準備を進め、内容の充実を計ると共に会場等の合理的な使用に工夫をこらし、簡素化により経費の節減に努め、会費も従来の1.3万円を1万円に値下げをして会員の負担を減らして、より多くの参加を呼びかけました。また各分科会のリーダーも事前の調査研究を積み中身の濃い勉強会としてのI.M.のスタイルになった



▲第4分科会風景

事は大きな意義のあったものと確信します。最後の懇親会も会員相互の親睦と面識を広めるに十分な成果を盛り上げる事が出来ました。ここに御礼と共に感謝してご報告申し上げます。

1996～'97年度

INTERCITY MEETING(西尾張分区)

西尾張分区代理 酒 井 孝



西尾張分区 I.M. ホスト 一宮R.C.

3月2日(日) 一宮スポーツ文化センター

当日は好天に恵まれ、来賓に神田真秋一宮市長、特別出席者に松本宏ガバナーを始め田中徹・神戸政治P.G.他、そして西尾張分区内407名の登録を得て、盛況の裡に開催することが出来ました。

此度はI.M.の目的である「親睦と情報の伝達」を徹底して追及すべく、準備委員会、実行委員会と1年をかけて企画を積み上げ、詳細にわたるマニュアルを作成して、昔のI.G.F.を彷彿とさせるI.M.になりました。

テーマを「いま、来日留学生は…」サブテーマを「アジアの親善平和、21世紀への展望」としました。

これは、ジアイR.I.会長の「新世代を育成し、未来を築こう」に添って、然も、21世紀はアジアの時代と云われているこの時期、新世代の視点をアジアにまで広げ、今、この日本で厳しい学生生活を送っているアジアの留学生にスポットライトを当て、それを理解し支援することで、将来この若者達を通じてアジアの親善と平和に貢献しようと、大それた事を考えました。

基調講演をお願いした前名古屋大学学長の飯島宗一先生もこの主旨をご理解いただき、①留学の世界史、②戦前戦後、日本に於ける留学生の受け入れと留学生の果たした役割、③留学生受け入れの問題点、(学校制度、教育内容、経済援助、スカラシップ、宿舎、市民社会との交流)④21世紀に向けて、など系統立てて諸問題を解り易く講演さ

れ、我々に大きな感銘を与られました。

次いで中国の女子留学生の日常生活を「紀杉留学奮闘記」と題して20分のスライドで紹介、これは構成からナレーションまで半年を要した労作で、深夜の研究室、土、日、スーパーでのアルバイト、夜間の中国語教室等、その取材には大変な苦労がありました。然しその甲斐あって厳しい条件下で明るく頑張っている彼女の生活は多くの人の胸を打ったと思います。

フォーラムは紀杉(中国)金正烈(韓国)李麗燕(台湾)の名大留学生、名古屋国際センターの大角部長をパネリストに、アドバイザーに松本G、田中P.G.にお願いしました。



留学生からは、留学生生活を通じての色々な問題点と米山奨学金に対する期待を、大角部長からは県下の留学生の実態をお話していただきました。途中、留学生の指導教官や日本の学生の飛び入りでの参加もあって有意義なフォーラムになりました。

懇親会では20名程の留学生を招き、ロータリアンと、全国から取り揃えた銘酒を酌みかわし終宴まで大いに盛り上りました。

またこの席上でユネスコの「世界寺子屋運動」に協力して分区の各クラブから書き損じの葉書を集めて寄贈しました。低開発国の子供達の識字運動に活用されるものです。

最後に一宮クラブでは、米山、準米山功労者に50名もの登録をいただき深く感謝いたします。

1996～'97年度

INTERCITY MEETING(名古屋第二分区)

名古屋第二分区代理 古川 善次郎

日時／平成9年3月10日(月)

場所／ホテルナゴヤキャッスル

当分区では本年名古屋錦ロータリークラブ、名古屋東山ロータリークラブが、それぞれ名北と和合をスポンサーとして誕生し新入会員が、100名を越える年となりました。そこで新入会員の学習の場でもありますIMでより交流を深めて頂くことを第一の目的としました。

最近各クラブ共ホームクラブの出席を強調するあまり、他クラブとの交流が極めて少なくなりました。私共のクラブができました昭和34年、もう既に亡くなられた敷島パンの社長盛田秀平さんが新クラブの教育にみえました。他にもYMCAの東根さんはロータリーソングの唄い方を何度も何度も覚えの悪い会員の為、足を運ばれました。

又お茶の松尾さんは名古屋クラブでずっと、ニコボックス委員長を続けておられましたが、いかに上手にお金を集めるか、喜んで出して頂く方法等を教示されました。

前出の盛田さんはホームクラブの出席の大切さは当然のこととし、折角ロータリークラブへ入会した以上一つの殻に閉じこもらないでどしどし他クラブへ、メーキャップに行き交流を深めなさい、より多くの方と知り合えるのは特典だと諭されました。

実際問題として何をやるのか、どう進めるのか、第1回IMで実行委員長を勤められたヴェテランの水谷守一実行委員長他、若手の委員各位は協議を重ねられた結果、早い段階で下垣真希さんの名が上がってきました。

時間を短縮することも最初に決まりました。だらだら長くするより中味の濃い3時間半位が参加者の負担も軽いだらうとの思いでした。

この間私は全くおまかせで傍観者の立場をとっておりました。

IMの目的である新入会員の融和も100名を越す人数ではいちいち紹介もなりません。代表1名の挨拶と決まりました。

皆さんが出たくなる様なIMを企画した結果、600名の出席を頂き満員の会場で開催する事が出来ました。

基調講演の代わりには対談を選びました。対談の一方の主人公、下垣真希さんは岐阜のロータリークラブから選ばれてドイツへ声楽の勉強に行かれましたが帰国を延ばして7年も頑張られた、見かけによらずシンの強い女性です。

いま1人のジョン・ギャスライトさんは、南山を卒業され奥さんは日本人という日本最良の先祖がスコットランドより移住のカナダ人です。

実行委員会は殆ど毎週例会前の1時間が当てられ、各委員の熱気にはいつも感嘆しました。そうして回を重ねる毎にじわりじわりと輪が締め上げられて行く様に、企画の中味が濃くなって行きました。それでも私は傍観者でした。

いざ当日、実行委員は3時間前に集合しリハーサルを兼ねての最終チェックです。

接待役の本田さんの先導で会場へ入る迄どれ位の会員が出席され、会場がどうなっているか別室にいた私達には皆目分かりませんでした。ドアが開かれ拍手の中会場へ入り溢れんばかりの人、人、に私の前を歩いていた水谷委員長が思わず「オッ満員でないか！」と弾んだ声、今日のIMは成功したと確信しました。

成功の一因に内容もさること乍ら3時間45分と短い時間で畳みかける様な進行の仕方、間をおかない会場移動があったようです。

最後に御理解を頂き沢山出席して下さいました10クラブのメンバーの方々に、深く感謝いたします。

1996～'97年度

INTERCITY MEETING(東尾張分区)

東尾張分区代理 伴 野 富 三

RI第2760地区東尾張分区のIMは3月16日午後犬山ホテルに於いて開催しました。

松本 宏ガバナーをはじめ多くの特別出席者や地区内10RCからロータリアン354名参加を得まして、好評のうちに滞りなく終えることが出来ました。

これもひとえに松本ガバナーの適切なご指導と参加クラブの支援、加えて私ども小牧クラブの塚本IM実行委員長を中心にして緻密な計画を立案され、整然と実行された会員の皆様のご努力によるものであります。

この度のIMが参加いただきました、ロータリアンの皆さんにこれからのロータリーの奉仕の活動の指針として少しでもお役に立つことが、出来れば幸いです。

分区代理をお引受けして以来、IMをどのように行うか絶えず気にかかっていました。

松本ガバナーは「ロータリーの奉仕は親睦から始まる」とお話になりました。

私も「楽しくなければロータリーでない」と日頃思っています。

実行委員会はIMのテーマを「Enjoy Rotary」といたしまして、此の様な形の会合となりました。

IMは「親睦と情報教育と意見交換」の場です。

一部 式典 二部 勉強 三部 懇親と情報交換としました。

基調講演をRI元理事・茶道裏千家お家元、千宗室先生にお願いしました。

演題は「奉仕のころ 茶のころ」でございました。

千先生が茶の道をとおして世界の平和に貢献されておられるのはご存じのとおりです。

冒頭で来る2004年には世界大会を日本に招き京都・大阪地区で開催するべく計画を進めているので誘致への協力と支援を要請されました。

ポール・ハリスが若い時に多くの人の善意のなかで育ったこと、そして五人の仲間が始まった友情の輪が今日の世界に広がるロータリーに発展した。

先生が海軍特別攻撃隊の一員として出撃の間際の追い詰められた時に浮かんだ母の面影。

中国の武帝と達磨大師の会話、仏教の八正道、禅寺での厳しい修行、など人として社会で生きて行く為のこころの在り方を格調高くお話になりました。

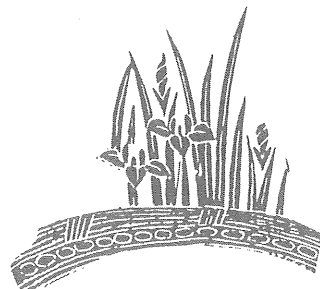
続いてロータリーの会員は会合に進んで参加すべきだ、自分の職業は天から与えられたものである、職業を通して社会に奉仕をするころは茶のころ（他人への思いやり、いたわりあうころ）と基を一にしている。

またロータリーの奉仕を近隣のRCと協力して実施するのも意義のある方法だ、ロータリーの知名度を上げよ、行動力をもて、と説かれて、最後に、私たちは善意のころをもって目的に向かって進んでゆこうと結ばれた、会場に居た多くの人々に大きな感銘を与えました。

講演が始まって間もなく強い地震が起きて天井のシャンデリアが大きく揺れたが、一人として席を立つ者もなく、熱心にお話に聞きいっていたことを付け加えておきます。

講演後、全員テーブルを囲んで懇親と情報の交換で会場も一段と盛り上りました。

おかげさまで東尾張分区のIMを無事、終えることが出来ました、有り難うございました。



1996～'97年度

INTERCITY MEETING(西三河第二分区)

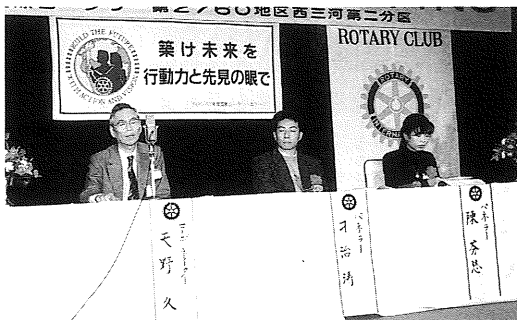
西三河第二分区代理 小 出 和 巳

日時／平成9年3月22日(土)

場所／グリーンホテル三ヶ根

西三河第二分区のI.M.開催に当り、国際ロータリー第2760地区松本宏ガバナーを始め、特別出席者各位のご臨席を賜り、錦上花をそえていただき誠にありがとうございました。また分区内各クラブより多数のご登録をいただき、このようにI.M.を開催することができ心より御礼申し上げる次第であります。

I.M.のホスト色クラブ西協会長、鈴木信吾実行委員長を中心に、度々の実行各委員の協議を得、ここに開催の運びとなりそのご労苦に対し、深甚なる敬意を表するものであります。1996～'97年度国際ロータリー、ジアイ会長が提唱されたR.I.方針の、「築け未来を、行動力と先見の眼で」をうけ、第2760地区松本宏ガバナーより地区のターゲット、「実践するロータリープラスワン」をかかげられ、その実現を目指すロータリ



アンが一堂に会し、I.M.を通じて有意義な一日であることをご期待申し上げ、会員各位の一層の親睦を深めていただきたいと存じます。

本日は地球環境関連をテーマとして、鳥取大学名誉教授遠山正瑛氏の基調講演に引きつづき、地区米山記念奨学会副委員長長天野久氏リーダーにより、米山奨学生からみた日本の生活体験等を中心としたフォーラムを計画しました。

遠山先生は世界の人口問題と食糧危機感を強調され、中国からの要請をうけて地球の緑化推



▲鳥取大学名誉教授
遠山氏の基調講演

進に目を向けて、内蒙古をスタート地点として広大な砂漠の植樹事業を遂行されている状況等を講演され、刻のたつのを忘れてしまった程、迫力満点の基調講演でした。また米山奨学生刁治涛君、陳芬慧さん、2名

によるフォーラムでは、絶妙な天野久氏のリーダーに米山奨学生の軽快なテンポでユーモアを交じえてのフォーラムであり、会員各位におかれてはこれからの新世代への接し方について、多少なりとも参考になったかと拝察いたします。今後の新世代育成に大いに役立て下さることを、ご期待申し上げます。

松本宏ガバナーよりI.M.のご講評にて、身にあまるお褒めの言葉を賜り、ホストクラブ西協会長以下会員一同面目をほどこした次第です。

I.M.会場のここ三ヶ根山は、蒲郡市、幸田町、幡豆町の境界にそびえたつ標高320メートルの山でございます。山頂より一眺に見渡す三河湾は、絶景であるとの評判を観光客からいただいておりますが、会員各位におかれましては、いかがでしたか。

何分にも不慣れのため不行届の点が、多々あったと存じますが、ロータリーの友情をもって、ご容赦賜らんことを伏してお願い申し上げます。

終りに当りご参集のロータリアン各位のご健勝と、各ロータリークラブのますますの発展をご祈念申し上げ、私のお礼の言葉とさせていただきます。

RYLA =テーマ=

「救え!地球を!」

国際ロータリー第2760地区

第5回ロータリー青少年指導者養成セミナー

地区青少年活動委員会

ライラ(小)委員長 野村重彦



まもなく迎える21世紀を担う青少年諸君、新世代の人々へのロータリアンの奉仕活動に「ライラセミナー・(ロータリー青少年指導者養成セミナー)」があります。

今年で第5回を迎えるライラセミナーは、国際ロータリー第2760地区、松本ガバナー主催の下に、「愛知県美浜少年自然の家」に、地区内ロータリークラブより選抜された活力あふれる若い受講生の皆さん178名、特別出席者を含む地区内ロータリアン200名余りの参集の下に3月15、16日の2日間有意義に開催されました。前方に伊勢湾の青い海が広がり、緑の木々に包まれた小高い丘の上に立つ、豊かな自然に恵まれた会場では、若い受講生のみなさんとロータリアンが手を携え、共に過ごし素晴らしい思い出を共有することが出来ました。

セミナーは、3月15日(土)、13時、松本ガバナーの点鐘により始まりました。今回ホストクラブを引受けて戴いた刈谷ロータリークラブの一年に亘る周到な準備の下に用意された会場では、16才から30才の青少年男女受講生の皆さんの輝

く様な若さに溢れる姿が一際印象的でした。

今年のセミナーで特記すべき事は、地区内全クラブの登録を得た事、そして守山ロータリークラブより障害を持つ受講生の参加を得る事が出来たことであります。

セミナーの基調講演は、環境と人間社会の調和を求め、熱心に活躍をして居られる、横浜国立大学環境科学センター長、教授、宮脇昭先生を迎え、「救え、地球を」「地球環境は足下から」の演題のもとに先生の長い経験にもとづく植生活動を中心に興味深い、かつユニークなお話は聞く者に深い感動と地球環境への認識を深めることが出来ました。引き続いて分科会に移り、5つのテーマ、①食糧危機、②エネルギー危機、③ゴミ戦争、④環境破壊、⑤ボランティア活動、を揚げ10の分科会場に別れ、刈谷ロータリーク





ラブ会員によるリーダー、サブリーダー、アドバイザーの連携プレイによる分科会指導の下に、若い受講生を中心に熱心な討議が重ねられ、建設的提言も多く2時間に亘る分科会パートⅠを終わりました。この分科会の時間に併行して、96～97年度第2回RI第2760地区青少年活動委員長会議が加藤正男委員長のもと極めて有意義に開催されました。別記にて詳しい報告を戴けると思います。セミナーの休憩時間中は“友愛の広場”で受講生とロータリアンとの楽しい交流がもたれ、世代間の対話の波は大きな広がりを見せました。

夕食後も、引続き分科会のテーマに沿った討論及びそのまとめに多くの時間を費やし、就寝時間が過ぎても受講生の部屋からは明かりが漏れ、話し声が続いていました。

翌朝は小雨まじりの生憎の天気の為、伊勢湾

を見下す“ふれあい広場”での“朝の集い”を断念し、体育館アリーナに集合し、指導員のリードでラジオ体操を行い気持ちをリフレッシュしました。



朝食後、各自感想文の作成にとり掛かり、9時30分より、分科会グループ別討論の結果発表を、10人の発表者が行い、若い受講生の感性あふれるスピーチは多くの人々に共感と感動を与えました。11時からの閉講式では松本ガバナー、地区青少年活動委員会カウンセラー加納泉パストガバナーの講評、修了証書の授与に続いて、あふれる涙を拭いながらの受講生代表の感動的な挨拶は会員の胸を打ち、次期開催ホストクラブ、豊橋ゴールデンロータリークラブ会長の再会を誓っての挨拶に続き、ロータリーソング「手に手をつないで」の大合唱でセミナーを終了しました。

RYLAとは

RYLAのいわれは、1959年オーストラリア・クィーンランド州の自治権獲得百周年記念祝賀会にイングランドのアレクサンドラ王女が臨席されたので、王女と同世代の青年たちを招き王女と会う機会を作ろうという計画がもちあがり、オーストラリア中から集まった青年リーダーたちのホストをブリスベン・ロータリークラブがつとめました。

青少年の資質を発見したロータリアン達は、この催しを毎年行い、1971年ロータリーの国際組織であるR.I.にとり上げられ、RYLA(Rotary Youth Leadership Awards)「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として位置付けられ、世界的なプログラムに発展し、1973年にはアメリカで、1974年にはフランスで、さらに1976年には日本でも始められました。

RYLAは、若い人々とロータリークラブ会員が共に時間を過ごし、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深めることに特色があります。

RYLAは、若い人々とロータリアンを参加させる地区プロジェクトであり、若い人の指導力と善良な市民精神という資質を伸ばすことを目的としております。

名古屋西、名古屋名駅、名古屋西南、名古屋港(4クラブ合同)

新世代会議開催

名古屋港ロータリークラブ

青少年活動委員長 岡本善博



去る3月9日(日)13時30分より、名古屋国際会議場で、ジアイRI会長提唱の「新世代を育成し、未来を築こう」のプログラムにのっとり、松本ガバナーのご出席のもとに名古屋西、名古屋名駅、名古屋西南、名古屋港の4クラブ合同による「新世代会議」が開催されました。

この新世代会議の主旨は、4つの地域の30歳までの青年男女を集め、21世紀の理想の社会創りの為に、私達は今、何をなすべきかをテーマに対話する集会を開催する。又目的は地域の新世代の若者と地域社会で活躍されている指導者との対話を推進する。とある。

内容はホストクラブ岡本青少年活動委員長の司会で第1部が開会式並びにフォーラム、第2部は懇親会でした。

フォーラムに先立ってホストクラブ渡辺会長より歓迎の言葉、深谷幹事よりゲスト6名、4クラブ合計で、430名(ロータリアン116名含)ローターアクト25名、総計約460名の参加を得た報告がありました。

名古屋西クラブ天野会長が主催者代表挨拶を行ない、中国の古典、同舟共済の例をひかれ、たまたま同じ20世紀に生れ、この地球に生まれた。日本丸を無傷のまま21世紀に繋いでいきたいという言葉がございました。

次いで松本ガバナーからご挨拶をいただき、4クラブ合同の新世代会議が盛大に開催できた事に感謝と敬意を表したい。この会議はその地

域の新世代を対象とする対話集会である。その地域のリーダーをお招きし、新世代の人達の抱えている諸問題をお互いに話し合っって関心事を良く理解、将来のビジョンや目標達成の指示を明確にする。又地域社会の発展の為に、地域のリーダーと新世代、ロータリアンが責任を共有している事の認識が必要とのお話がありました。

フォーラムはコーディネーターにタレント「劇座」主宰の天野鎮雄氏、パネラーにはシンガーソングライターのオユンナさん、大安禅寺住職の高橋友峰氏、名古屋青年会議所理事長の綱島裕明氏、'94ミス日本の櫛山しのぶさんを迎えました。

オユンナさんはモンゴルから日本へ来て日本人の考え方、生き方を通して見えなかったものが見えて来た。日常生活の中で友人を大切にすることが重要。



高橋友峰氏はお寺にはお年寄が集まってこられるが若い人達も来て心の世界を学んで欲しい。親の背中を見せる、親の生き方を子供に学ばせるということ。掃除をするという事、心の掃除について。自分をコントロールするという事。

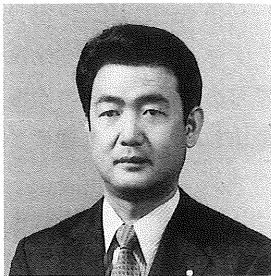
綱島裕明氏は名古屋青年会議所は「明るい豊かな地域社会の創造」を掲げて活動している。国際協力に努め、海外に出て何かを感じる事が必要。21世紀は地球レベルで物を考え、活動しよう。

榊山しのぶさんはコミュニケーションの重要
性と最小単位は家庭である。先輩は若い人を教
育して欲しい。

とそれぞれ話されました。

総評は松本ガバナーにお願いし、来年、再来
年と輪を広げ、新世代の若者と我々がお互いに
責任を共有しあいすばらしい日本、ひいては世
界平和の為に寄与したい。等のお言葉がござい
ました。

第2部はサンクガーデンカスケードに場所を
移し、新世代とロータリアン合同の和やかな懇
親会となりました。17時に閉会。実り多い一日
を終了しました。



WCS活動視察 旅行報告

世界社会奉仕(々)委員会
委員長
鶴田 欣也

’96～’97WCS委員会の活動として、昨年と同
様、タイ・フィリピンの2グループに分け、下
記の通り各プロジェクトの視察と寄付金贈呈を
行いました。

1 フィリピン (3800地区・3810地区)

委員長以下計18名が参加して、2月21日(金)
に出発し、22日(土)は3810地区のプロジェクト
を終日視察し、夜はドネーションを行いました。
また、開催中の地区大会にも出席でき、友
好を深める事が出来ました。23日(日)は、3800
地区のプロジェクトを終日視察し、夜はドネー
ションを行いました。寄付の内容は下記の通り
です。

地 区	プロジェクト への寄付	奨学金	合 計
3800地区	3,721,000円	2,140,000円	5,861,000円
3810地区	2,675,000円	1,000,000円	3,675,000円
合 計	6,396,000円	3,140,000円	9,536,000円

2 タイ (3360地区)

岡田副委員長他計10名が参加して、フィリ



ン視察団より1日早く20日(木)に出発し、21
日(金)は終日チェンマイ周辺の数カ所のプロ
ジェクトを視察、夜はドネーションを行いまし
た。22日(土)は、3360地区WCS委員会と会食
し懇親を深めました。寄付の内容は下記の通り
です。

地 区	プロジェクト への寄付	奨学金	合 計
3360地区	2,100,000円	2,100,000円	4,200,000円

3 愛知奨学金について

(1) 1993年から3地区に対し、奨学金を寄付
してきましたが、今年度でそれぞれ1,000万円に
達し、当初の計画を終了いたしました。

(2) 継続の要望も強い事から、ガバナーの御
承諾を得て、来年度(’97～’98年)から、更に5
年間でそれぞれに500万円を寄付することとし、
その協定を結ぶ打ち合わせを3地区のWCS委員
会と行いました。

最後になりましたが、’96～’97年度の当地区の
比国およびタイ国へのWCS寄付活動に対して、
各RCの御理解と御協力をいただき、両国訪問を
無事終了することができました。厚く御礼申し
上げます。

また、両国への視察旅行に多数のご参加をい
ただきました。このことにつきましても、あわ
せて御礼申し上げます。



第2760地区ニュース・その他

第2回地区青少年活動 委員長会議

委員長 加藤 正 男



去る3月15日、ライラセミナーの分科会の時間を利用して松本宏ガバナー・加納泉パストガバナーはじめ特別出席者・地区内76クラブの青少年活動関係者合計93名の方々の参加を得て、大変内容の濃い本年度第2回青少年活動委員長会議を開催できました事を大変嬉しく存じます。

今回の会議では「新世代のためのロータリー会議」について、下記の各クラブ青少年活動委員長が素晴らしいコメントを発表されました。半田・竹内尚哉氏。名古屋中・水野正雄氏。名古屋瑞穂・川村基之氏。名古屋西・太田勇氏。名古屋守山・佐藤正俊氏。名古屋空港・中林正人氏。一宮中央・市川敬恭氏。豊橋ゴールデン・高橋雅男氏。岡崎南・岩瀬嘉宏氏。西尾K I R A R A・辻村義之氏。豊田三好・鈴木正輝氏。

本年度に入って地区内47クラブが多彩な「新世代のためのロータリー会議」を開催。その他3クラブが計画中です。この様な新世代との対話の機会が、新しい伝統としてますます盛んになることを願って止みません。

今回の会議開催に対し格別なるお力添えを賜りました野村重彦ライラ委員長、刈谷・羽田育哉会長、加藤英二ライラ実行委員長はじめ同クラブ会員各位に対し深甚なる謝意を表します。

名古屋和合ロータリークラブ 創立25周年記念例会

平成9年3月12日、於ホテルナゴヤキャッスル

会長 石原 敏 夫

和合ロータリークラブ創立25周年記念例



皆さん、春分の日も近く、大変春らしくなりました。本日は私共のクラブ創立25周年の記念例会でございます。

先程ご紹介申し上げましたとおり、松本宏ガバナーを始め、ご来賓の方々、お客様の方々、ご多忙にも拘わらずご出席を賜りまして大変嬉しく存じます。心から厚くお礼申し上げます。

また、会員、ご家族の皆様にも多数ご出席をいただき、ありがとうございます。

今日ご出席の方のほかに、まだ多数のお招きしなければならぬ方々がありましたが、時節柄、地味に取り図ったため失礼をいたしました。

さて、私共は創立25周年記念事業の一環として、政治も経済もまことに不透明で全く苦しい社会環境であります、こういう時こそ新クラブ設立という記念事業に挑戦しようと全員が高い熱意に燃え、東山クラブさんご自身の渾身のご努力と相俟って素晴らしい新クラブが誕生できたと思います。

それにいたしましても、松本ガバナー、内田幹事、古川分区代理始め関係各位の暖かいご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

国際ロータリー会長、ルイス・ビセンテ・ジアイ氏は本年度RIテーマの「築け未来を行動力と先見の眼で」を掲げられて、その実現のため

第2760地区ニュース・その他

いくつかの事項を示されておりますが、その最初に「先達の歩みに敬意を払うことによって、未来を築こう」とあります。

当クラブは総員113名であります。現在チャーターメンバーは11名の方が在籍しております。これらの方々に対して、25周年に当たり、創立時のご活躍とご苦勞に思いを致し、深甚の敬意と感謝を申し上げます。

最後でございますが、本日の記念例会は極めてささやかな催しであります。皆様の暖かい友情に溢れた会合となりますよう祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

ローターアクトの全国研修と ロータリーの関係

地区ローターアクト(小)委員会
委員長 石川 敬



海の向こうは近くて遠い国、朝鮮半島である。今年「全国ローターアクト研修会」が「新世代の育成」を主テーマに、去る3月1・2日の両日ここ九州は唐津にて、地元地区ガバナーを筆頭に、全国24地区よりローターアクター455名、ロータリアン282名、計737名の参加者のもとに開催されました。

唐津市は佐賀県と長崎県とで構成するR.I.第2740地区に属し、玄界灘の海を庭に持った古き良き城下町である。地名は古き時代から唐や韓



との交易の津から由来したといわれる。

さて、ロータリーはR.I.会長方針として、「築け未来を——行動力と先見の眼で」をテーマに青少年奉仕活動に最大の力を入れております。特に、「新世代」の育成強化を重点とした、若者の健全育成は大きな課題です。青少年の奉仕活動は育てる活動で、ロータリアンが共にする奉仕活動です。次世代の若者が、今まで家族や友人から教わらなかった事を、ロータリアンと共にやろうとする活動は、奉仕、親睦であれ、地域社会において最良で健全な市民としての評価に値すると確信します。

地区運営の事務効率化について 地区運営効率化委員会で検討



▲第3回の地区運営効率化委員会

地区運営効率化委員会(委員長・石川和昌PDG)では、ロータリー財団、米山奨学会、青少年交換委員会の事務量の増加に伴う各委員会とガバナー事務所の事務処理の問題点について、その合理化＝集約化の検討を重ねてまいりました。



第2760地区ニュース・その他

たが、去る1月25日開催の委員会において、ほぼ意見の一致を見たため、次回の委員会にガバナーへの答申案づくりの作業に入ることとなりました。

将来、この三委員会の事務を委員会とガバナー事務所から切り離し、独立の事務所を置く方向で答申案をまとめる予定です。

ロータリー財団

おめでとうございます
ご協力に感謝申し上げます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1月分

氏 名	所属R.C.
岡 田 邦 弘	(岡 崎 南)
花 田 利 雄	(豊 橋)
小 田 公 平	(豊 橋)
成 田 嘉 則	(豊 橋)
小 林 岩 夫	(豊 橋)
服 部 友 巳	(豊 橋)
神 野 紀 郎	(豊 橋)
佐 藤 茂	(豊 橋)
森 澄	(豊 橋)
紅 林 辰 郎	(豊 橋)

ベネファクター 1月分

氏 名	所属R.C.
牧 野 政 雄	(豊橋ゴールデン)
浦 野 正 二	(豊 田)
鈴 木 恵 一	(名古屋空港)
伴 實	(豊 橋 北)
牧ヶ野 義 雄	(名古屋西)
中 川 望	(岡 崎 南)
小 野 隆	(岡 崎 南)
澤 田 一 満	(岡 崎 南)

新ポール・ハリス・フェロー 1月分

氏 名	所属R.C.
竹 本 悟	(刈 谷)
杉 田 等	(名古屋昭和)
志 水 正	(刈 谷)
鳥 居 清 澄	(西 尾)
辻 啓 介	(知 多)
久 世 武 志	(名古屋空港)
伊 藤 正 夫	(刈 谷)
今 泉 昌 明	(豊川宝飯)
可 知 紀 明	(豊川宝飯)
山 本 章 吾	(豊川宝飯)
弓 場 昭 弘	(渥 美)
小 野 修 平	(岡 崎 南)
竹 内 照 男	(岡 崎 南)
大 竹 勇 司	(名古屋西)

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

関根孝雄様 (名古屋東R.C.)	3月11日
小出昭一様 (あまR.C.)	3月12日
鈴木敦雄様 (名古屋東南R.C.)	3月12日
櫻井司士様 (小牧R.C.)	3月17日
中野富彦様 (名古屋R.C.)	3月27日

編集後記 月信もNo11号までできました。マ

ラソンにたとえるとスタート地点の競技場が見えてきてあと一息といったところです。

各分区のI.M.も多大な成果を収めて全て終了し、1997～'98年度のための会長エレクト研修セミナーも先日開催され、いよいよ次年度に向けての活動がスタートしました。

編集、原稿依頼、取材、レイアウト、校正と一ヶ月があっという間に過ぎ、すぐに次号の段取りと正に月信サイクルの生活のリズムから解放される日が待遠しい今日このごろです。

月信担当副幹事 竹倉健治

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	99.03	4	47	52	5	西 尾 張 分 区	あ ま	99.53	4	104	105	1
	半 田	100.00	4	74	71	-3		尾 西	96.92	4	63	65	2
	半 田 南	100.00	3	68	68			一 宮	97.78	4	92	94	2
	東 知 多	97.91	4	62	67	5		一 宮 北	98.51	4	85	85	
	常 滑	99.63	4	70	71	1		稲 沢	97.65	4	65	66	1
	東 海	98.79	4	61	63	2		西春日井	100.00	3	61	64	3
	計	99.23	—	382	392	10		尾張中央	99.30	3	50	51	1
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	97.42	3	222	235	13	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	89	89	
	名古屋南	99.14	4	121	131	10		一宮中央	98.99	4	72	75	3
	名古屋港	100.00	4	130	131	1		計	98.74	—	681	694	13
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	104			渥 美	91.53	4	63	66	3
	名古屋中	100.00	4	160	162	2		蒲 郡	97.12	4	78	80	2
	名古屋西	98.96	4	143	153	10		奥 三 河	95.23	4	38	39	1
	名古屋大須	99.75	4	96	105	9		新 城	94.37	4	68	71	3
	名古屋名南	99.62	3	84	89	5		田 原	100.00	4	73	72	-1
	名古屋名駅	97.64	4	102	106	4		豊 橋	99.58	4	132	132	
	名古屋東南	99.01	4	84	88	4		豊橋ゴールデン	99.70	4	84	82	-2
	名古屋栄	97.35	4	83	85	2		豊 橋 北	99.67	3	116	116	
	名古屋西南	100.00	4	52	52			豊 橋 南	99.59	4	68	73	5
名 古 屋 第 二 分 区	計	99.07	—	1,381	1,441	60		豊 橋 東	100.00	4	32	34	2
	名古屋千種	98.55	3	68	69	1	西 三 河 第 一 分 区	豊 川	100.00	4	82	82	
	名古屋東	99.56	4	113	116	3		豊川宝飯	99.49	3	68	71	3
	名古屋北	99.54	4	115	120	5		田原パシフィック	96.16	3	76	78	2
	名古屋名北	99.65	4	67	71	4		計	97.88	—	978	996	18
	名古屋名東	98.84	3	84	85	1		岡 崎	99.75	4	117	122	5
	名古屋守山	94.77	4	84	86	2		岡 崎 東	98.75	4	83	90	7
	名古屋昭和	100.00	4	72	73	1		岡崎城南	100.00	3	76	77	1
	名古屋和合	100.00	4	110	113	3		岡 崎 南	99.29	4	113	118	5
	名古屋錦	96.88	3	60	66	6		豊 田	98.38	4	98	96	-2
	名古屋東山	100.00	4	—	48	48		豊 田 東	99.18	4	91	98	7
	計	98.78	—	773	847	74		豊 田 西	100.00	4	105	101	-4
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	3	78	84	6		豊田三好	99.27	4	32	36	4
	岩 倉	97.56	3	41	41		西 三 河 第 二 分 区	計	99.33	—	715	738	23
	春日井	100.00	4	83	84	1		安 城	98.48	4	91	91	
	小 牧	99.25	4	68	71	3		碧 南	99.70	4	83	82	-1
	江 南	100.00	4	73	77	4		一 色	100.00	4	52	51	-1
	名古屋空港	98.51	4	65	68	3		刈 谷	100.00	4	92	90	-2
	尾 張 旭	100.00	4	70	70			知 立	100.00	4	54	60	6
	瀬 戸	100.00	4	78	83	5		西 尾	98.55	3	76	77	1
	瀬 戸 北	98.93	3	70	69	-1		西尾KIRARA	97.78	4	70	71	1
	豊 山 城 北	98.34	3	60	61	1		高 浜	100.00	3	54	56	2
	計	99.26	—	686	708	22		計	99.31	—	572	578	6
地区内クラブ数				76RC	'96.7.1会員数		6,168名		増 加 会 員 数		243名		
					当月末会員数		6,394名		減 少 会 員 数		17名		
					当月平均出席率		98.95%		差引純増会員数		226名		